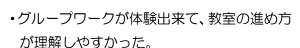
2016年度は東京・福岡・大阪・札幌・名古屋の5都市で研修を開催し、 延べ204名の方にご参加いただきました。 研修後に頂いたアンケートを一部ご紹介します。

- ・どうやって自主グループの立ち上げに関わったらいいか悩んでいたところだった。大変勉強になった。ファイブ・コグの活用法も勉強になった。(地域包括支援センター 職員)
- ・全国の保健センター、自治体、包括が参加され、他区の情報を知ることができた。また、いかに実行し継続していくかという工夫を、事例を挙げながら分かりやすく講義して頂きありがとうございました。今後につなげて行きたいと思う、(包括支援センター 職員)





主体性を引き出す関わり方、ポイントがとても分かりやすく実践的であったので、すぐにでも地域で役立てそうな気がした。





「イチジク」を使った料理のアイディア
「ロスより + 間げる + 形状
く工をと続け)
・「デザート」ではなく制度。ドレスは?
・「間がたし屋前のイーンと解析)
く事の。「のまむい・ドイチンを手分に
・「切り、片葉形をまえいに兼がる」
・「②とじしょうかをかって、大便
・おえし、バーリをのせる。

・とても質の高い研修で良かった。ファイブ・コグは、精度の高いテストなのがわかった。研究しつくされている印象。質問にも 1 つ 1 つ対応してくださり、ありがとうございました。(病院 職員)

・ファイブ・コグの活用法については、十分理解できた。分析・評価については経験を重ねることで理解が深まると思う。参加者の興味を引き出すことが啓発で大事と痛感した。対象者の確保には文字媒体のみでは実感がわかないことを実感した。

(社会福祉法人 職員))